

私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

2014(26)年 週 報

4月6日
第1聖日
3346号

「最後の晩餐」
(イースター連続講演第1回)

聖言

食事の後、杯を同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。」ルカ22:20

礼拝の恵みⅡ

「実は、私も、私の神、主の名のために宮を建てて、これを主にささげ、主の前におりの高い香をたき、パンを常に並べ、また朝ごと夕ごとに、また安息日ごと、新月の祭りごとに、私たちの神、主の例祭ごとに、全焼のいけにえをささげようとしています。」(旧約二ノ四)

礼拝は聖書を中心とします。なぜなら、真の礼拝は聖書に記されているのです。神様はモーセに神殿建設を命じました。その目的は神の礼拝のためです。聖なる香を焚き礼拝の為でした。第二は香は四つの部分から成っています。第一は記念のためです。第二は感恩です。第三は畏敬です。第四は驚異です。香はこの四つの思いをもって焚かれるのです。その目的は礼拝を受けるに相応しい父なる神と御子イエスに最高のものをささげる為です。旧約における礼拝の意味は「主人に対する犬」と言う意味があります。この点を明らかにする一例をあげます。ある極寒の夜、子どもにいじめられ餓死寸前の野良犬を見つけた紳士は家につれて帰り、助かりはしなれないと思いましたが、暖かいパンと牛乳を食べさせ奇跡的に回復した野良犬は主人が帰ってくると尻尾を振って出迎えるようになった。ある夜暖炉のソファアでくつろいでいると手に暖かいぎらぎらした感触を感じた。見ると野良犬が主人を見上げて舌でなめていた。野良犬は餌をほしいのでなかった。主人の前にすわって、歓喜と感謝との目で眺めているだけで満足を覚えていた。これは私たちの教会の礼拝の説教一つの意味です。(APギブソン「礼拝」参考)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一四年三月三〇日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「宣教の労苦」 (二テサロ二テ連続講演第6回)

「存知のとおり。私たちは今まで、へつらいのことはを用いたり、むさぼりの口実を設けたりしたことはありません。神がそのことの証人です。」 (二テサロ二テ一ノ五)

テサロ二テ一ノ五「私たちの福音があなたがたに伝えられたのは、ことばだけによつたのではなく、力と聖霊と強い確信とによつたからです。」パウロはテサロ二テに福音を宣べ伝えるために神から使わされた。その原動力は力と聖霊と強い確信でした。それは人間的な野心からでなく、神的な力であつた。それも神話でなく、律法的な権威主義を砕いて、永遠の初めよりパウロを選び、永遠の神の計画のために使徒として選んでくださり、永遠の奥義を世々のはじめより定められた神の御経綸を開かれた福音を託させられ神の全権大使としての福音であつた。これはどうしてもこうしても、使命以上のもの、福音を宣べ伝えずば呪われるのである。野心や有名になることでない。あの小保方さんが発見した新細胞は世界を驚かして、有名になるためではないかと騒がれている。猪瀬元知事も渡辺代表も国民の幸せでなく、自分の権力のためであつた。しかし、パウロはお金目当てとか売名のためであると噂されないため、テサロ二テの信者のために、母のごとく、いや命さえ捨てることをいとわなかつた。具体的に福音のために報酬を要求せず、反対に全財産をなげうって福音を語つた。それもへつらつたり、金儲けでなく、母のような慈愛と父のような厳しきさによつて神を喜ばせることを目的とした。神は悔いし砕けた魂を喜ばれる。神の御まごころは福音を宣べ伝えることである。神は御子を世に遣わし宥めの供え物として罪人に提供してくださった。そして十字架の上に罪人の身代わり屠られた。そして死んで黄泉に下り三日目に甦られた。それ

により罪人は罪を取り除かれ、神の前に義たされ、イエスの如く復活の約束を与えられる。聖霊を注がれこのお方を全世界に宣べ伝えるために心がイエスのことくきよめられるのである。私たちはイエスの宣伝塔である。世の人は私たちの変化によりイエスを知るのである。いままで暗い顔をしていたのになにかいいことがあつたのかと不思議がるのです。教会にいったらあのように冷静になるのか。あのような損害と悲劇になかに何故、あのような冷静に生きられるのであるか。温暖化は現実には生活をおびやかしている。新冷戦が到来した。消費税が明後日からあがる。いつ東南海地震がきても不思議でない。癌は一人に一人がかかる。憲法改正と強い日本へと舵をきつた。高齢少子化はますます進む。その中で唯一の希望は神がパウロに託し、私たちに託して福音宣教だけである。テサロ二テの希望はそれだけである。彼らは三週の安息日でパウロの福音を受けいれ、多くの人々がその変化を脅威の目をもって証した。

二〇一四年 四月二日午後七時 祈祷会 山本牧師

「エゼキエルの召命Ⅱ」

「その中に何か四つの生きもののようなものが現れ、その姿はこうであつた。彼らは何か人間のような姿をしていた。」(エゼキエル一ノ五)

第三〇年の第四の月の五日、私がケバル川のほとりで、捕囚の民と共にいたとき、天が開け、私は神々しい幻を見た。それはエホヤキン王が捕囚となつて連れて行かれてから五年目であつた。その月の五日に、カルデア人の地のケバル川のほとりで、ブジの子、祭司エゼキエルにはつきりと主のことばがあり、主の御手が彼の上にあつた。

エゼキエルはエホヤキンと共にエルサレムから捕囚されて来た。

当時ケバル川には難民収容所があった。そこにて母国にエレミヤが預言、バビロンでエゼキエルが預言した。ダニエルもバビロンで大臣であった。

ヨハネ3:8「あなたがたは新しく生まれなければならないと、わたしが言ったことを不思議に思ってはなりません。風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それが何処から来て、何処へ行くか知らない。御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。」

新約において御霊によって生まれた者は御霊によって歩まねばならない。

宣教⑬

第三課 歴史の主人公になられた神

—世界宣教の歴史—

三、六、三 現代宣教第三期…未伝道部族への宣教時代（一九三四〜現在）

ウイリアム・キヤメロン・タウンゼントとドナルド・マクギヤランによって始まり、人種的、言語的、文化社会的な部族集団の宣教に焦点が当てられた。ウルフ・ウインターは未伝道部族と言う言葉を作り、その方向性が明確になった。

・ 代表的な宣教師

・ ウイリアム・キヤメロン・タウンゼント（一八九五〜一九

八二） 「海外宣教のための学生ポランテニア運動(SVM)」に感動し、大学を中退する。グアテマラで聖書販売員として働いた際、先住民の「あなたの神が偉大だと言いながら、なぜ私たちの言葉が話せないのか」という質問にチャレンジを受け、部族の言葉で聖書翻訳を試みた。ウイクリフ聖書翻訳協会を設立し、五〇年間にわたって聖書翻訳の働きを行った。四〇〇〇

人の宣教師がタウンゼントの後に続き、プロテスタント教会で最も大きな宣教団体に成長した。ウイクリフ聖書翻訳協会は現在、四〇〇言語の聖書翻訳を完成させ、七〇〇言語の翻訳を進めている。世界約八〇カ国で六〇〇〇以上の部族に仕えており、毎年三〇〇以上の言語の翻訳を行っている。

(ワイ・ミッションより)

四月二〇日(日) 礼拝後教会総会をおこないます。

教会員は全員出席しましょう。欠席される方は委任状を提出してください。

第十五回癒し五〇日連続祈禱

三月一七日(月)〜五月五日(月)

午後二時〜午後一時半 (祈りの後、楽しいティーで休憩)

場所 教会 階(気軽に参加して共に祈りましょう)

今年の教会受難カレンダー

- ① 灰の水曜日三月五日(水)
- ② 四旬節(レント)三月五日(水)〜四月一九日(土)
- ③ 棕櫚の主日…四月一三日(日) マタイ二二ノ一〜十一、ヨハネ十二ノ十二〜十九
- ④ 受難週四月一三日(日)〜四月一九日(土) マタイ二二〜二七章、ヨハネ十二〜十九章
- ⑤ 洗足木曜日四月十七日(木) ヨハネ十三ノ一〜十七
- ⑥ 受難日四月一八日(金) ルカ二三ノ三三
- ⑦ イースター四月二〇日(日) マタイ二八ノ二〜四
- ⑧ 昇天日 五月二九日(木) マルコ一六ノ一〜九ルカ二四ノ五一
- ⑨ 聖霊降臨日 六月八日(日) 使徒二ノ一